



火の神乙女太鼓 貫禄の2連覇 ～第14回日本太鼓ジュニアコンクール鹿児島県大会～

■日本太鼓ジュニアコンクール鹿児島県大会が10月29日、霧島市で開催され、火の神乙女太鼓が昨年に続き優勝し3年連続の全国大会出場を決めました。また、枕崎子ども太鼓海っ鼓も7位入賞し九州大会に出場します。火の神乙女太鼓の平田裕貴くん(枕崎高2年)は「まだ通過点。優勝を目標にしていた前回の全国大会では悔しい思いをした。今度こそ優勝したい」と話していました。



絵をとおして税についての理解深める ～第2回税に関する絵はがきコンクール～

■(社)南薩法人会主催の『税に関する絵はがきコンクール』で管内3市の小学4・5・6年生から643点の応募がある中、枕崎小学校の清川結衣さん(6年)の作品が最優秀賞に輝きました。また、成績優秀校に贈られる学校賞を枕崎小学校が受賞しました。清川さんは「公園や道路などいろんなところで税金が活用されていることを知り、税の大切さを学びました」と話していました。



▲清川さんの作品

笑顔でイキイキ 手作り料理は元気の素 ～健康センター男性料理教室『ますらお料理教室』～

■男性料理教室『ますらお料理教室』が11月16日、健康センターであり、54歳から90歳の9人が参加しました。同教室は、2年前に健康センターの呼びかけで始まり始まったもので、月1回のペースで実施しています。この日のメニューは呉汁、腹皮のホイル焼き、芋ご飯の3品。栄養士の指導を受けながら和気あいあいとした雰囲気の中で教室は進んでいきました。参加した白澤宗王さん(84歳)は「妻が体調を崩してから何とかしようと参加した。今では毎日3食自分で作る。人生の幅が膨らんだような感じ」と話していました。



思いやりの心で友だちと仲よくしよう ～まくらざき保育園で『わくわくじんけんルーム』～

■園児を対象とした人権啓発活動『わくわくじんけんルーム』が11月14日、まくらざき保育園で行われ、約50人の園児が参加しました。園児は、市人権擁護委員の朝田栄子さんによる「友だちと仲よくしよう」という内容の紙芝居や、人権啓発イメージキャラクターとの交流をとおし、思いやりの心で友だちと仲よくすることの大切さを学びました。



今月のラブ枕崎愛人さん
枕崎愛マークステッカーを携帯
電話や身近なものに貼って
枕崎愛をケータイしている人を紹介するコーナーです



■「枕崎鯉節」シールもよろしく!! 1枚(A4シート)210円。水産加工組合事務所販売中



◎投稿をお待ちしています。画像と名前(フルネーム)を添えて投稿してください。総務課秘書広報係 E-mail hisyokoho@city.makurazaki.lg.jp

カツオについて とことん議論 ～2011カツオフォーラムin枕崎～

■カツオの有効活用や需要などについて検証し、カツオの未来について語り合う日本カツオ学会と地元実行委員会主催の『2011カツオフォーラムin枕崎』が11月13日、地場センターで開催され、全国各地から漁業関係者や研究者など約250人が参加しました。講演では、東京海洋大学大学院の末永芳美教授が『カツオをめぐる国際環境と日本』と題し「大型まき網船が増える中、漁獲管理も必要ではないか」と提言。テーマ部会では、カツオ資源の現状やカツオの漁撈技術、地域に根ざした活用法など、活発な議論が交わされました。最後に、これらの意見を集約した『枕崎宣言』が採択されました。



水産加工組合に総務大臣賞 ～平成23年度ふるさと企業大賞(総務大臣賞)～

■地域の振興・活性化に貢献した優良事業者に贈られる『ふるさと企業大賞(総務大臣賞)』を枕崎水産加工業協同組合が県内事業者として初めて受賞しました。今回の受賞は、平成21年の『枕崎鯉節の本枯れ節』の『本場の本物』の認定をはじめ、昨年6月には『枕崎鯉節』を地域団体商標登録するなど、かつお節のブランド化推進のほか、かつお節の製造過程などで出る残滓を、より付加価値の高いDHA魚油等へ加工し販売するなどの取り組みが地域経済に貢献したと認められたものです。西村協組合長は「今後も関係者と連携しながら、地域の産業振興に寄与していきたい」と話していました。



市民芸能祭

芸術・文化の秋に市民が活躍 ～第45回枕崎市総合文化祭～

■市総合文化祭が10月22日から11月17日までの期間、南浜館と市民会館で開催されました。期間中は両会場で水墨画や写真、書道などの展示があったほか、市民会館では2日に市内音楽グループと火の神太鼓保存会、霧島九面太鼓保存会による市民の夕べ、3日に市民芸能祭、17日に学校音楽祭が行われました。



学校音楽祭

学校給食で『枕崎牛』味わう ～『枕崎牛』給食の日 生産者との交流給食～

■『枕崎牛』の生産者9名が『枕崎牛』66kgを学校給食に提供、これを使った牛丼が11月4日、市内全小・中学校の給食に出されました。福岡県の食肉卸業者が商標登録している『枕崎牛』は、黒毛和種とホルスタインの交雑種で、関東や関西を中心に出荷され、本市ではお魚センターで販売しています。桜山小学校で行われた生産者との交流給食では、生産者を代表して宮路敏廣さんが「心を込めて育てた枕崎牛を味わって」とあいさつ。児童は生産者と楽しく会話をしながら、おいしそうにほおばっていました。山口歩夢くん(5年)は「口の中で肉がとけていった。おいしかった」と話してくれました。